

三齒科大学女性協議会主催

第4回女性歯科医師の集い

報告書



愛知学院大学歯学部同窓会女性企画委員会

日時：平成29年10月29日（日） 11:00～14:00

会場：名古屋観光ホテル フレンチレストラン エスコフィエ



【巻頭言】

2014年11月、全国歯科大・歯学部同窓会・校友会懇談会（全歯懇）が「女性会員がより輝くために」というテーマで開催され、愛知学院大学歯学部同窓会・朝日大学歯学部同窓会・松本歯科大学校友会の女性役員が、各同窓会での女性会員活動について報告した事を契機に、2015年1月、「第1回親睦交流会」が17名の女性歯科医師のみの集まり（愛知学院大学7名、朝日大学、松本歯科大学各5名）で開催されました。その中で、交流会継続の決議がなされ、同年11月に「第2回女性会員交流会」を開催する運びとなり、86名の女性歯科医師の参加者が集い成功裏に終わることが出来ました。その後、三歯科大学同窓・校友会において「三歯科大学女性協議会」の発足が正式に認められ、各校3名（愛知学院大学は4名）の計10名で企画、準備を重ね、「女性会員交流会」の名称を変更し、2016年11月27日「第3回女性歯科医師の集い」としての会が開催されました。総勢102名の女性歯科医師（内2名は歯学部生）の参加となり、回を重ねる毎に参加者が増加し、本来の目的でありますお互いの顔を知り、そして親睦を深めつつ、研修するという目標に歩んでいけているのではないかと実感いたしました。

第4回となります今回は「今後の女性歯科医師の集いに求めるもの」というテーマのもと、過去にスタッフとして陰で支えて下さった方を中心に36名が名古屋観光ホテルのフレンチレストランに集い、懇親会形式で開催されました。アットホームな雰囲気の中で、大学、都道府県を越えて親睦がますます深まったと感じているところです。

各大学に目を移しますと、愛知学院大学歯学部では、2008年から本部同窓会に女性企画委員会が発足し、活動を開始致しました。現在は中村委員長のもと、16名の委員で構成されております。松本歯科大学では、2015年に女性会員のための「桔梗会」発足、朝日大学歯学部では以前からいくつかの支部で女性会員の会が開催されており、さらに今年度より本部同窓会に「はなみずきの会」が発足しました。三歯科大学女性協議会を通じて各大学での活動もますます精力的になってきております。

この会の開催に際しまして、ご協力いただきました関係各位に感謝しつつ、今後も三校の顔の見える関係を構築する事によって、東海地方のみならず全国の女性歯科医師の輪が広がっていく事を切に願い、ここに報告書を作成致しました。

平成29年11月吉日

（森岡貴子）



【参加者】

女性歯科医師 36 名（愛知学院大学 12 名 朝日大学 11 名 松本歯科大学 13 名）

【スケジュール】

11:00～ 挨拶、趣旨説明
11:15～12:00 グループディスカッション
12:00～12:15 記念撮影、休憩
12:15～ 会食（12:25～12:55 自己紹介）
（13:10～13:50 グループ発表、まとめ）
13:50～14:00 閉会



【グループディスカッション】

グループ 1



座長	岡田順子	（松本歯科大学 2 回生）
書記	牧原加奈	（松本歯科大学 3 4 回生）
	井上泰子	（愛知学院大学 2 4 回生）
	兵藤文美	（愛知学院大学 2 9 回生）
	谷香代子	（朝日大学 2 3 回生）
	越智葉子	（朝日大学 4 0 回生）

今回の企画はとても好評でした。グループ 1 皆、和気藹々でした。

座談会形式は良いアイデアだと思いました。開業医、勤務医、大学院生、既婚者、独身女性、など色々なタイプの人のお話が聞けるチャンスだと思います。協賛企業には時間を設けたほうが良いと思いました。グループディスカッションは人数が少ない方が全員と話せてよいと思いました。大学が違っても年が違っても立場が違っても個人として同じ女性歯科医師として水平的のつながりが出来たと思います。

形式について

- ・ 3～4 名の先生にそれぞれのストーリーを座談会形式でお話いただいては？
- ・ グループディスカッション、テーマはあった方がいいのか？
- ・ 大人数では中々、自身の意見の発言等が難しくなってしまう聞かだけになってしまう可能性もあるので 6 名～8 名程度でのディスカッションがいいのではないのか？その際、昼食も兼ね食事をしながら意見交換をするのがいいのでは？
- ・ テーマは年齢層や、聞きたい事が違うのであったほうが良い、との意見が出ました。

業者展示について

- ・ 最後に沢山のパンフレットを持ち帰るのが大変なので、業者さんのブースを回る時間を設け、それぞれ興味のあるパンフレットを持ち帰る。
- ・ 食事中等に業者さんの説明を設けても騒々しくなってしまうので、業者さんの説明の時間はその時間で設けては？その際、女性向けの業者さん（好評だった口紅等）を入れると楽しいのではないのか？等の意見が出ました。

他の形式について

- ・ くじ引きはやめて会の充実にあてたほうがよいのではないのか？例えば食事だったりお土産だった

り、時間の短縮にもなるのでいいのでは？との意見が出ました。

その他について

グループ1では卒業後の進路を迷っている学生さんも多いので学生さんの参加も自由にしてはどうか？との意見が出ました。

グループ2



座長 中村美保 (愛知学院大学 22回生)
書記 渥美信子 (愛知学院大学 21回生)
永縄友紀子 (愛知学院大学 29回生)
長井真里子 (朝日大学 9回生)
越智雅子 (朝日大学 9回生)
太田善子 (松本歯科大学 2回生)
杉浦充 (松本歯科大学 30回生)

- ・形式は毎回同じ形式ではなく、いろいろな形式があってもいいとの意見があった。例えば午前、午後とも座談会でもいいのではないかとのことだった。
- ・抽選会については、時間を短くするか、もしくはなくてもいいとの意見がでた。その分、全員にプチギフトや記念品を用意するのもいいのではないかとのことだった。
- ・講演会は、等身大の方の話や、女性の気持ちを引くような内容が聞きたいとの希望があった。例えばインプラントや矯正歯科などの歯科の内容では人によってそれぞれ興味が違うので、避けてほしいとの意見がでた。ライフスタイルに合わせた内容「いつ結婚して子供を産むか」というテーマで何かできたらいいのではないかとのことがあった。
- ・座談会は、もっとテーマを細かく分けてほしいという希望があった(例えば、開業、閉院、キャリア、子育てなど)。テーマが広いと立場や環境がさまざまな人がいて、本当に聞きたいこと、関心のあることなどが聞けないとのことだった。
- ・講演時間は短めがいいとの意見がでた。
- ・昼食を食べながら業者の方からの商品の説明を聴くのではなく、講演会なしで、もっと時間をかけて行ってもらってもいいのではないかとのことがあった。
- ・婚活パーティーのような企画を行ってほしいとの要望があった。
- ・会費は3000円くらいがよく、高くても5000円までを望まれていた。また、振り込みの方が、受け付けがスムーズではないかとのことがあった。
- ・誘っても若い方は参加しにくいようだとの話がでた。学生の参加も望まれていた。

グループ3



座長 佐久間恵子 (愛知学院大学 22回生)
書記 森岡貴子 (愛知学院大学 30回生)
澤田起久代 (朝日大学 14回生)
橋本裕子 (朝日大学 3回生)
田澤澄枝 (松本歯科大学 2回生)
萩原佳江 (松本歯科大学 28回生)

座長の簡単な参加者紹介の後、早速、これまでの会の反省点を踏まえながらディスカッションが行われた。

- ・形式については色々な案が出たが、今まで通り午前講演会、午後から座談会というパターンが良いという意見でまとまった。
- ・テーマ、講師選定については“摂食嚥下”“経営”“食育”“趣味について”“アンチエイジング”などの意見が出たが、現実的にはお知り合いから講師を紹介して頂く形がスムーズに行くのではないかとのことであった。

- ・座談会についてはテーマ別の項目をもう少し増やしたら選択肢が広がるとの意見、内容は訪問歯科、親子継承についてなど新たなテーマが出た。
 - ・時間は10時半から15時ぐらいであれば参加しやすいとのことであった。
業者展示は会場の場所スペースによって展示形態が変わるが、パンフレットは自由に持ち帰る形が良いとの意見だった。
 - ・その他の要望として
抽選会を無しにしてその分、お土産代、講師代に回す。
会場は駅近くのホテル、宴会場が良い。
2年に1回盛大にやり、その間は今回のようにスタッフのみの会とする。アンケートは継続した方がいいとの意見があった。
- 終始、座長を中心にして活発な意見が飛び交い、その後の食事の時間も和気あいあいとした意見交換が続き、充実した楽しい時間であった。

グループ4



座長	守安 攝子	(松本歯科大学 4 回生)
書記	古田 名美	(松本歯科大学 2 3 回生)
	西尾 佐和子	(愛知学院大学 2 1 回生)
	伊藤 亜紀子	(愛知学院大学 2 9 回生)
	木治 裕子	(朝日大学 1 1 回生)
	杉本 有加	(松本歯科大学 3 6 回生)

グループ4は、開業医の先生5名と勤務医の先生1名の構成です。
男性の三歯科大学の懇親会と三歯科大学女性歯科医師の会の違いを明確にするために女性特有の会として特徴を出すにはどうしたらよいかを議論しました。
まず形式案は、グループディスカッション形式で自己紹介をしながら話題を発展させていく方法と、モデレーターを一人選出し、その方があらかじめ決めたテーマを話し合うよう司会、進行していく方法の2つが出ました。
テーマは個々の先生方でご関心をもつ事柄が違いますが、共通の関心事項は女性としてのライフスタイルに関する事と、女性歯科医師としての臨床についてでした。学術的な専門内容は他のセミナーにゆずり、女性特有の話題（アンチエイジングや女医としての臨床や医院経営）をもっと聞きたいという意見がありました。また、参加費を経費で落としたいので短時間でもいいので講義をしていただいて「〇〇研修」と領収書でほしいという意見もありました。
女性ならではの意見として、お得な情報（臨床やその他）や美容アイテムの紹介があるとよりうれしいというご意見もいただきました。
この会をみなさんは、毎年楽しみにされているようでして、ただ集まって美味しいものをいただいて話をするだけでも日頃のうっぶんがとれて参加してよかったとおっしゃっておいりました。そんなご意見をいただくと、テーマをきちんと決めなくてもフレンドリーな雰囲気でも話をしたほうが、かなり上の先生と若い先生が気兼ねなく交流がもてる時間として設定してもいいのではと思いました。私も、日頃の細々とした疑問を上の先生に聞けましたので本当に有意義な時間を過ごさせていただきました。
日々の診療に悩んだり、孤独を感じることもあると思いますが、この会での連帯感をより強化していくことで女性歯科医師としての自信と存在感が現れてくると思います。今後の会の発展に会員が知恵を出し合ってより進化した会になるよう協力していきたいと思ひます。

グループ5



座長	近藤万知	(朝日大学	9回生)
書記	山岡真弓	(朝日大学	8回生)
	祖父江達子	(愛知学院大学	13回生)
	今泉三枝	(愛知学院大学	27回生)
	伊藤三智子	(松本歯科大学	2回生)
	大谷広緒	(松本歯科大学	7回生)

女性歯科医師の集いは継続して欲しい。毎年、開催日を(例えば11月最終日曜日)に決めて行うと良いと思います。又2年に1度との意見もありました。

テーマについては「女性だから」などのしほりをなくし「1人の歯科医師」として臨床につながるトピックに添ったものや学術的に特化したものを取り上げて欲しい。との意見もありましたが、これに関しては有料の研修会などの参加により習得出来ることの為、女性歯科医師の集いの意義を考えては?とのお話が出ました。まず、女性歯科医師の集いの意義をはっきりすると良いのでは。又、大都市圏の女性歯科医師の会の活動などの話が聞きたい。

時間としては、諸事情を考慮して10時から15時として、昼食を摂りながらの座談会で顔を合わせながら行い、午後からは諸事情により途中帰宅出来るようにすれば参加しやすくなるのでは。時間を有意義に使う為、イベントは無くし座談会の発言は文書にし、後日メールなどを利用してはいかがですか。

出来れば、アンケートを行い、それを元にテーマ、座談会内容など決めやすくなり、講師により参加者も増える可能性があるかと思えます。

業者は協賛として必要ですが、実際には時間がなくゆっくり見て廻れない。
以上、様々な意見をいただきました。

グループ6



座長	城所貴美恵	(朝日大学	23回生)
書記	五藤康子	(朝日大学	24回生)
	西村温子	(愛知学院大学	24回生)
	溝畑亜紀子	(松本歯科大学	28回生)
	吉田尚子	(松本歯科大学	4回生)

- ・ 場所はアクセスの良いところで。
- ・ 席は自由より、子供連れの場合は後ろの方の席を確保できるようにした方がいいのではないかな? その場合そこにキッズスペースを作っておくといい。
- ・ 講義内容としてはアンチエイジング、ヒアルロン酸、ボトックス、リップマッサージ、パタカラ等をテーマに。
- ・ 今後、新しく女性ドクターに参加してもらうには、この集いがどういうものなのか、詳しく食事の内容、概要を書く、去年の様子を写真を盛り込み、親近感を持たせるのはどうか?
- ・ 初めて参加するドクターに不安を与えない、行ってみようと思わせる案内状を送ってみるのはどうか?
- ・ 以前に出されたお弁当、デザート、お土産には満足度高かった。
- ・ 抽選も楽しかったとグループ6では好評だった。

(佐久間恵子)



【エピソード】

当日は台風 22 号（サオラー2017）が愛知を直撃しました。ちょうど会が終了し、ホテルから出る時間には滝のような（50mm/h）の雨が…まさにお足元の悪い中、天候による欠席者や遅刻者を一人も出さずに開催の運びとなりました。長野県の飯田市から、三重県の答志島から皆さん気合を入れて参加していただきました。

これまでの集いでは昼食はお弁当でしたが、今回はフレンチレストランでの開催、会費を無視したエスコフィエのシェフのお計らいで、フルコースをいただくことができました。—まさに女性に優しいレストランです。

食事中の時間を使って 36 名全員が自己紹介をし、終了時には各グループで名刺交換や電話番号交換、SNS でお友達に、といろんな手段で顔の見える関係にプラスしたつながりができ、始めから最後まで本当に楽しい会となりました。今回の運営に関わっていただいた三齒科女性協議会の先生方にこの紙面をお借りして感謝を申し上げます。

（中村美保）

【編集後記】

今回の報告書をまとめるにあたり、第 2 回、第 3 回女性歯科医師の集いの報告書を改めて読み返しました。共に企画・準備・運営・協賛集め、そして報告書の作成はとてもパワーに溢れています。今回の第 4 回は、趣向を変え、主にこれまでの会の実務担当者にお声かけをして集まってくださったメンバーで、いわゆる感謝の会として開催をしました。ただ、せつかくの機会ですので、「これからの女性歯科医師の集いに求めるもの」について、グループディスカッションを行ったところ、実務関係者ならではの深みのある、なるほどと思うようなご意見を得ることができました。3 校の同窓会（校友会）が力を合わせて行うスケールメリットを生かして講師選定を行い、皆さんのご意見に耳を傾け、そして共同歩調を行って進めることでおのずと参加者を増やすことができるのではないかと考えています。

東海でのこの規模の女性の集まりはございません。この集いを大切に継続していけるよう祈ってやみません。

（中村美保）